

がんを防ぐための

新12カ条

あなたのライフスタイルをチェック そして今日からチェンジ!!

1条
たばこは吸わない

2条
他人のたばこの煙を避ける

3条
お酒はほどほどに

4条
バランスのとれた食生活を

5条
塩辛い食品は控えめに

6条
野菜や果物は豊富に

7条
適度に運動

8条
適切な体重維持

9条
ウイルスや細菌の感染予防と治療

10条
定期的ながん検診を

11条
身体の異常に気がついたらすぐに受診を

12条
正しいがん情報でがんを知ることから

出典：公益財団法人がん研究振興財団「やさしいがんの知識」

がん検診に関する

お問い合わせは右記へ

山口県 がん対策

検索

がん検診受診率向上に向けた連携事業

がんは、本県における死亡原因の第1位であり、5千人近くの方ががんにより亡くなっています。

しかし、近年の医療技術の向上などにより、がんは、自覚症状が無い早期の段階で発見されれば、治る確率が高くなっています。がん検診を定期的を受診し、早期発見・早期治療に努めましょう。

また、精密検査の受診を勧められたときは、必ず受診しましょう。

県と民間企業等ではがん検診受診率向上に向けて協定を締結し、検診の普及啓発や受診勧奨に連携して取り組んでいます。

このリーフレットは、その連携事業の一環として作成されたものです。

(協定締結企業等) 山口銀行・アフラック・東京海上日動・丸久
山口県信用金庫協会・西京銀行・第一生命

(発行年月) 令和5年3月



がん検診に関するお問い合わせ先

お問い合わせ先一覧

下関市	健康推進課	083-231-1935
宇部市	健康増進課	0836-31-1777
山口市	健康増進課	083-921-2666
萩市	健康増進課	0838-26-0500
防府市	健康増進課	0835-24-2161
下松市	健康増進課	0833-41-1234
岩国市	健康推進課	0827-24-3751
光市	健康増進課	0833-74-3007
長門市	健康増進課	0837-23-1133
柳井市	健康増進課	0820-23-1190
美祢市	健康増進課	0837-53-0304
周南市	健康づくり推進課	0834-22-8553
山陽小野田市	健康増進課	0836-71-1814
周防大島町	健康増進課	0820-73-5504
和木町	保健相談センター	0827-52-7290
上関町	保健福祉課	0820-62-0324
田布施町	保健センター	0820-52-4999
平生町	保健センター	0820-56-7141
阿武町	健康福祉課	08388-2-3113
山口県	医療政策課	083-933-2961

山口県がん総合相談窓口

がんに関する不安や悩みについて、医療のことだけでなく、仕事から生活に関することまで、安心して療養できるように支援する窓口です。

相談時間：平日9時～12時・13時～16時
相談方法：主に電話による相談

☎0835-28-7090

相談無料

ただし、通話料は相談者の負担となります。

健康だからこそ受けよう

がん検診

がん検診受診率向上に向けた連携事業



山口県PR本部長ちよるる



山口銀行
YAMAGUCHI BANK



東京海上日動

マルキユウ



山口県信用金庫協会

一生涯のパートナー

第一生命



西京銀行



01

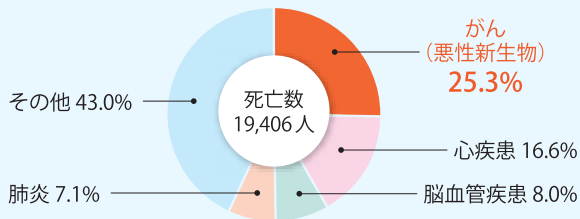
がんは、あなたの身近な問題です。

山口県ではどのくらいの人のがんで亡くなっているの？

山口県の令和3年におけるがんによる死亡数は4,909人で、死亡原因としての割合は25.3%です。



山口県死亡原因の割合 (令和3年)



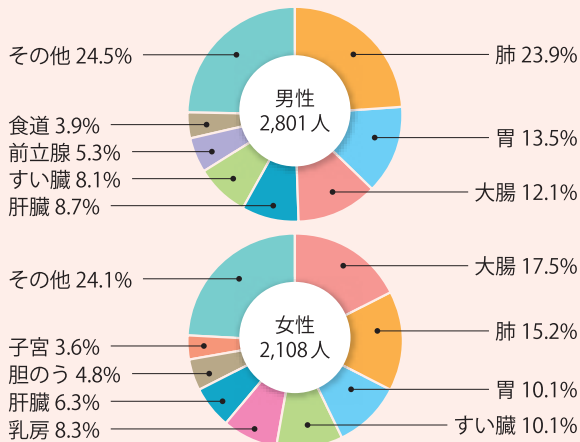
出典：厚生労働省「令和3年人口動態統計」

02

山口県民に多いがん

部位別死亡割合では、男性では肺、胃、大腸、肝臓、女性では、大腸、肺、胃、すい臓の順に高くなっています。(胃、すい臓は同数)

部位別死亡割合 (令和3年)



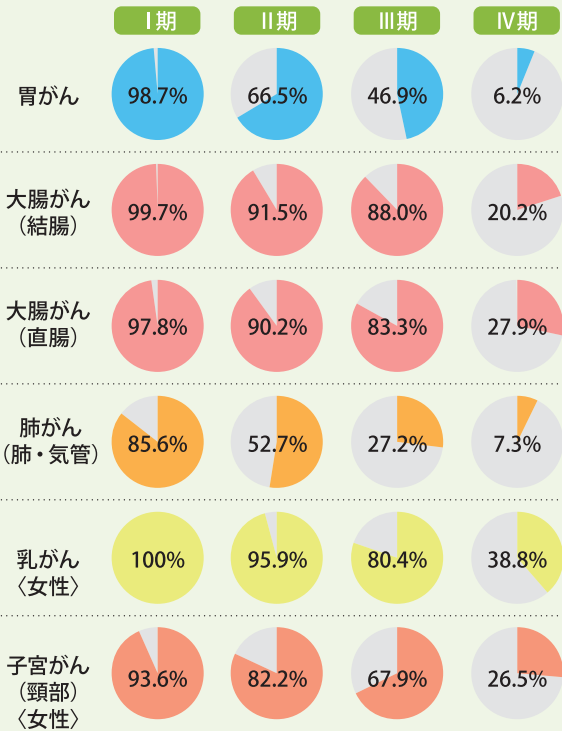
出典：厚生労働省「令和3年人口動態統計」

03

でもご安心ください、がんはここまで治るようになりました。

がんの5年生存率

次のとおり各病期(ステージ)ごとの5年後の相対生存率からもがんが早期で発見された場合、生存率が高いことがわかります。



出典：公益財団法人がん研究振興財団「がんの統計(2022年度版)」(全国がんセンター協議会加盟施設における5年生存率)

病期(ステージ)についてはがんの部位によってそれぞれ異なりますが、おおむね次のとおりと言えます。

- I期** 一般にがんの大きさが小さく、隣接する組織に広がっていない状態(早期がん)
- II期** 腫瘍が大きくなり、広がりは周囲のリンパ節や隣接する組織までで留まっている状態
- III期** がんはかなり大きくなり、隣接する臓器にまで広がり進行している状態
- IV期** 遠隔転移が見られる状態



04

だから行こう、がん検診

がんは治せる時代です。



医療技術の進歩と検診での早期発見でがんはより高い確率で治せる病気に

がん検診の種類

市町が実施するがん検診の対象者等

検診の種類・内容	対象	自己負担額(個別検診の場合)	検診に要する費用(個別検診の場合)
胃がん検診(胃部X線検査)	50歳以上の男女	300~3,700円	9,500~14,000円
		(胃内視鏡検査)	500~4,500円
大腸がん検診(便潜血検査)	40歳以上の男女	100~1,000円	1,300~5,000円
肺がん検診(胸部X線検査)	40歳以上の男女	300~1,200円	3,500~4,000円
乳がん検診(マンモグラフィ+視触診)	40歳以上の女性	500~2,100円	6,000~9,000円
		(マンモグラフィのみ)	500~2,500円
子宮頸がん検診(細胞診)	20歳以上の女性	300~2,200円	5,500~7,500円

※平成28年4月1日から、胃がん検診は対象者が50歳以上、検査方法が胃X線検査又は胃内視鏡検査(ただし当分の間、胃X線検査を40歳以上の者を対象として差支えない)に、乳がん検診は検査方法がマンモグラフィ(ただし、視触診は推奨しないが、仮に実施する場合はマンモグラフィと併せて実施)に変更されました。

※検診内容については、市町により、また問診結果等により異なる場合があります。
※自己負担額については、県内の個別検診を受診した場合の目安額で、実際には市町ごとに異なります。
年齢や課税状況等による減額、免除等については、お住まいの市町にお問い合わせください。
※胃がんの主因とされるヒロリ菌の除菌治療が保険適用となる場合があります。(医療機関等にお問い合わせください。)